



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 新明和工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 7224

URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 榎原 敬士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 経理本部長 (氏名) 久米 俊樹 (TEL) 0798-56-5010

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	62,708	8.7	2,049	43.6	2,738	82.5	1,876	107.5
2026年3月期第1四半期	57,665	0.4	1,426	△22.5	1,500	△41.4	904	△40.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,440百万円(613.6%) 2026年3月期第1四半期 201百万円(△88.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	28.38	—
2026年3月期第1四半期	13.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	287,033	124,970	43.3
2026年3月期	296,056	125,687	42.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 124,199百万円 2026年3月期 124,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	27.00	—	29.00	56.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		29.00	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	310,000	8.8	17,000	4.1	15,500	△5.0	10,500	△8.8
								158.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	70,000,000株	2026年3月期	70,000,000株
2027年3月期1Q	3,857,070株	2026年3月期	3,856,655株
2027年3月期1Q	66,143,091株	2026年3月期1Q	66,090,701株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(セグメント情報等の注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景として、個人消費に持ち直しの動きが見られるとともに、企業の設備投資も底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学的リスクの高まりに伴う原材料価格・物流コストの高止まりに加え、為替相場の変動や人件費の増加等の影響により、企業を取り巻く経営環境は依然として厳しく、先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、当社グループは、2030年を志向した長期経営計画「SG-Vision2030」のPhase 2に当たる、中期経営計画「SG-2026」の活動最終年度を迎え、企業価値向上に向けた諸施策を推進しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は73,175百万円(前年同期比1.5%減)、売上高は62,708百万円(同8.7%増)となりました。なお、当第1四半期末の受注残高は372,245百万円(同11.5%増)であります。

損益面は、増収に伴い、営業利益は2,049百万円(同43.6%増)、経常利益は2,738百万円(同82.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,876百万円(同107.5%増)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。

(特装車)

車体等の製造販売は、前年同期における価格改定前の駆け込み需要の反動により受注は減少したものの、売上は増加いたしました。

また、保守・修理事業は、受注は前年同期並みの水準となり、売上は増加いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注は増加したものの、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は36,056百万円(前年同期比15.9%減)、売上高は27,994百万円(同9.3%増)となり、営業利益は1,449百万円(同21.4%増)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は145,145百万円(同1.1%増)であります。

(パーキングシステム)

機械式駐車設備は、受注、売上ともに増加いたしました。

また、航空旅客搭乗橋も、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は11,523百万円(前年同期比3.6%増)、売上高は11,050百万円(同5.6%増)となり、営業利益は917百万円(同8.0%増)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は54,979百万円(同6.0%減)であります。

(産機・環境システム)

メカトロニクス製品は、真空製品の受注及び売上が増加した一方で、自動電線処理機の売上が減少したことなどから、分野全体では受注は増加し、売上は減少いたしました。

また、環境関連事業は、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は8,564百万円(前年同期比21.5%増)、売上高は5,272百万円(同3.2%減)となり、営業損益は490百万円の損失(前年同期は42百万円の損失)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は67,068百万円(前年同期比13.7%増)であります。

(流体)

一部海外子会社において受注が低調に推移したものの国内外の需要が堅調に推移したことから、受注及び売上が増加し、当セグメントの受注高は8,922百万円(前年同期比15.7%増)、売上高は5,115百万円(同11.4%増)となり、営業利益は62百万円(同653.6%増)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は12,777百万円(同12.6%増)であります。

(航空機)

防衛省向けは、受注、売上ともに減少いたしました。

一方、民需関連は、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は4,738百万円(前年同期比50.4%増)、売上高は9,793百万円(同22.0%増)となり、営業利益は986百万円(同219.2%増)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は72,560百万円(同50.3%増)であります。

(その他)

建設事業において、受注は増加したものの、売上が減少した結果、当セグメントの受注高は3,369百万円(前年同期比42.1%増)、売上高は3,482百万円(同1.0%減)となり、営業利益は159百万円(同12.2%減)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は19,713百万円(同47.8%増)であります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、棚卸資産は増加したものの、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて9,023百万円減少し287,033百万円となりました。

(負債)

負債は、未払費用の減少や法人税等の納付などにより、前連結会計年度末に比べて8,306百万円減少し162,062百万円となりました。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いなどにより、前連結会計年度末に比べて716百万円減少し124,970百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の42.2%から43.3%に上昇いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、33,142百万円と前連結会計年度末に比べて2,755百万円の減少となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は、1,852百万円(前年同期に支出した資金は6,199百万円)となりました。これは、棚卸資産の増加額9,046百万円、法人税等の支払額4,223百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益2,730百万円を計上したことに加え、売上債権の減少額16,936百万円があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、投資活動の結果支出した資金は、2,553百万円(前年同期に支出した資金は2,911百万円)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が1,962百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、財務活動の結果支出した資金は、2,188百万円(前年同期に得られた資金は8,021百万円)となりました。これは、配当金の支払額が1,918百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、2026年5月8日に公表いたしました通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。売上高と営業利益のセグメント別内訳は、本決算短信と同時に開示しております四半期決算補足説明資料をご覧ください。

2027年3月期 通期連結業績予想の修正(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	312,400	17,000	15,500	10,500	158.75
今回修正予想 (B)	310,000	17,000	15,500	10,500	158.75
増減額(B-A)	△2,400	0	0	0	0
増減率(%)	△0.8	0	0	0	0
(参考)前期実績 (2026年3月期)	285,024	16,329	16,324	11,507	174.02

※8月以降の前提となる為替レートは、1米ドル=150円としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,057	33,297
受取手形、売掛金及び契約資産	79,574	65,232
電子記録債権	15,429	12,692
商品及び製品	5,884	6,725
仕掛品	27,323	32,915
原材料及び貯蔵品	30,677	33,369
その他	4,959	5,309
貸倒引当金	△363	△343
流動資産合計	199,542	189,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,107	21,747
その他（純額）	30,714	32,989
有形固定資産合計	52,822	54,737
無形固定資産	3,074	3,226
投資その他の資産		
その他	40,626	39,878
貸倒引当金	△9	△8
投資その他の資産合計	40,617	39,869
固定資産合計	96,513	97,833
資産合計	296,056	287,033

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,212	45,481
短期借入金	4,960	4,911
1年内返済予定の長期借入金	9,000	9,000
未払法人税等	4,721	811
工事損失引当金	2,852	2,857
その他	52,652	48,016
流動負債合計	119,399	111,078
固定負債		
長期借入金	35,000	34,657
株式給付引当金	273	270
退職給付に係る負債	13,110	13,415
その他	2,586	2,641
固定負債合計	50,970	50,984
負債合計	170,369	162,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	14,804	14,703
利益剰余金	87,356	87,203
自己株式	△5,508	△5,508
株主資本合計	112,635	112,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,326	5,159
土地再評価差額金	△377	△377
為替換算調整勘定	4,317	4,118
退職給付に係る調整累計額	2,978	2,919
その他の包括利益累計額合計	12,245	11,819
非支配株主持分	805	771
純資産合計	125,687	124,970
負債純資産合計	296,056	287,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	57,665	62,708
売上原価	48,724	52,618
売上総利益	8,941	10,089
販売費及び一般管理費	7,514	8,039
営業利益	1,426	2,049
営業外収益		
受取利息	40	41
受取配当金	172	223
持分法による投資利益	53	3
為替差益	16	699
その他	64	113
営業外収益合計	347	1,080
営業外費用		
支払利息	174	175
休止固定資産費用	21	10
借入手数料	6	7
債権流動化費用	58	161
その他	13	36
営業外費用合計	274	391
経常利益	1,500	2,738
特別損失		
固定資産処分損	26	8
特別損失合計	26	8
税金等調整前四半期純利益	1,473	2,730
法人税、住民税及び事業税	397	474
法人税等調整額	156	375
法人税等合計	553	850
四半期純利益	919	1,880
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	904	1,876

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	919	1,880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	230	△167
為替換算調整勘定	△787	△313
退職給付に係る調整額	△19	△59
持分法適用会社に対する持分相当額	△141	100
その他の包括利益合計	△717	△439
四半期包括利益	201	1,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242	1,450
非支配株主に係る四半期包括利益	△40	△9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,473	2,730
減価償却費	1,350	1,400
売上債権の増減額 (△は増加)	7,913	16,936
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,225	△9,046
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,988	230
その他	△6,771	△6,301
小計	△2,247	5,949
利息及び配当金の受取額	210	309
利息の支払額	△183	△183
法人税等の支払額	△3,978	△4,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,199	1,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,737	△1,962
有形固定資産の売却による収入	6	2
無形固定資産の取得による支出	△108	△289
関係会社貸付けによる支出	△50	-
その他	△21	△303
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,911	△2,553
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,014	157
短期借入金の返済による支出	△355	-
長期借入れによる収入	-	157
長期借入金の返済による支出	△500	△500
配当金の支払額	△1,784	△1,918
非支配株主への配当金の支払額	-	△18
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△297	-
その他	△54	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,021	△2,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	△186	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,276	△2,893
現金及び現金同等物の期首残高	28,282	35,898
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	137
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△549	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,456	33,142

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装車	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	24,605	9,302	3,456	3,135	4,136	44,637	3,388	48,025	—	48,025
アジア	260	1,166	1,280	1,104	—	3,811	—	3,811	—	3,811
北米	—	—	542	209	3,430	4,182	—	4,182	—	4,182
その他	753	—	165	140	458	1,518	—	1,518	—	1,518
顧客との契約 から生じる収益	25,619	10,468	5,445	4,589	8,026	54,149	3,388	57,538	—	57,538
その他の収益	—	—	—	—	—	—	127	127	—	127
外部顧客への 売上高	25,619	10,468	5,445	4,589	8,026	54,149	3,516	57,665	—	57,665
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	7	2	0	9	—	20	1,574	1,594	△1,594	—
計	25,627	10,470	5,445	4,599	8,026	54,169	5,090	59,260	△1,594	57,665
セグメント利益 又は損失(△)	1,193	849	△42	8	309	2,318	181	2,499	△1,072	1,426

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,072百万円には、セグメント間取引消去△73百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△999百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装車	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	27,034	9,635	3,966	3,442	3,646	47,725	3,354	51,079	—	51,079
アジア	287	1,414	847	1,039	—	3,589	—	3,589	—	3,589
北米	—	—	258	483	5,716	6,458	—	6,458	—	6,458
その他	671	—	200	149	430	1,452	—	1,452	—	1,452
顧客との契約 から生じる収益	27,994	11,050	5,272	5,115	9,793	59,225	3,354	62,579	—	62,579
その他の収益	—	—	—	—	—	—	128	128	—	128
外部顧客への 売上高	27,994	11,050	5,272	5,115	9,793	59,225	3,482	62,708	—	62,708
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2	2	0	1	—	7	1,504	1,512	△1,512	—
計	27,996	11,053	5,273	5,116	9,793	59,233	4,987	64,220	△1,512	62,708
セグメント利益 又は損失(△)	1,449	917	△490	62	986	2,924	159	3,083	△1,034	2,049

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,034百万円には、セグメント間取引消去△62百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△971百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。